

雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

「主体的・対話的で深い学び」を通して

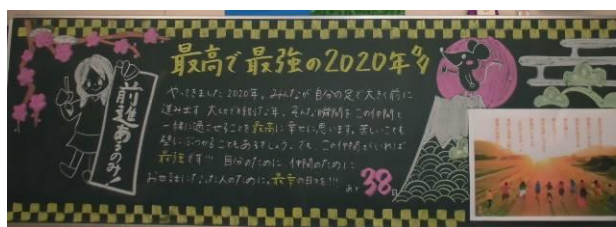
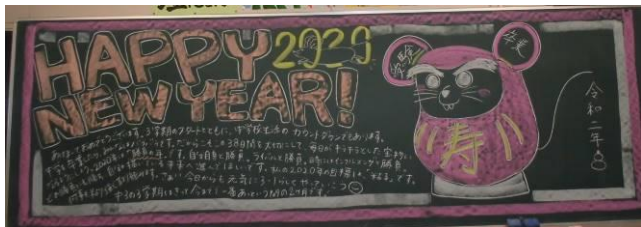
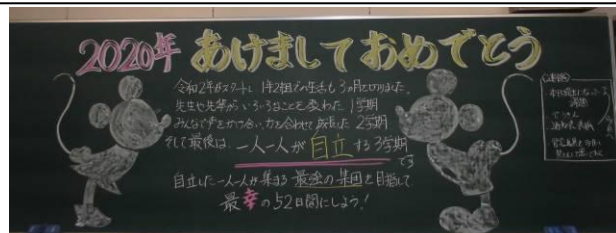
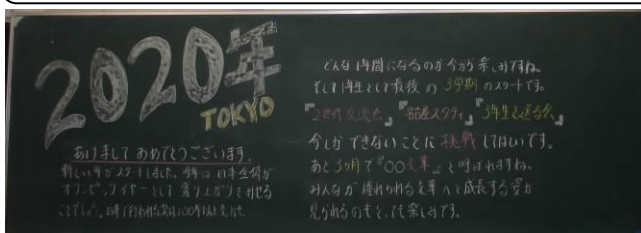


緊張感と集中力のある校内書初め会に感動 1月7日(火)



1月7日(火)、3学期始業式後に校内書初め会を開催しました。1年生は「温故知新」、2年生は「信念を貫く」、3年生は「希望に輝く春」という言葉を真剣に書きました。すべての教室を回って、生徒の書初めの様子を観察しました。教室の黑板には、担任から2020年、令和元年度3学期の生徒へのメッセージが書かれており、そのメッセージを意識して、どの生徒も集中して字を書いています。この集中力に感動しました。これなら、令和元年度の有終の美を飾る3学期になるだろうと確信しました。

2020年の生徒の幸せを願っての担任からのメッセージ 1月7日(火)朝



2020年1月7日(火)の朝、各教室を回っていくと、担任から2020年、令和元年度3学期にける思いが伝わってくるメッセージが書かれていました。**額中生は幸せです。額中生を幸せにしようと努力している教職員がいるからです。教師の仕事は、生徒を幸せにすることです。**幸せは、与えられるものではなく、「**努素心啓**」と「**人の支え**」によって、幸せをつくりあげていくものです。

令和元年度3学期の3年生の授業日数は38日間です。特に、3年生は、自分の人生を切り拓くために乗り越えなくてはならない壁があります。自分一人では乗り越えられなくても、自分を支えてくれる仲間、先生がいるから乗り越えられます。**2020年の漢字「幸」を実現させましょう。**辛いことから逃げずに、辛いことに立ち向かっていく勇気が必要です。**C (Challenge) R (Respect) S (Smile) で「幸せの花」を咲かせましょう。**

正門横の資源回収ボックスの交換

2019年12月27日(金)



2019年12月27日(金)、正門横の資源回収ボックスがいっぱいになっていたのに、友方さん(元PTA会長)が、空の回収ボックスに交換してくださいました。友方さんには、額田中学校PTA活動の一環としての資源回収にご尽力してください、感謝しています。2020年もこの形で資源回収を継続する予定ですので、学区の皆様には額田中学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2019年の締めくくりで、環境整備をする校務員の石原孝司さん



校務員のIさんが、岡崎市教育委員会の作業班に依頼して運動場南側のフェンス前の側溝上の土砂を撤去する作業をしました。雨で運動場の土砂が流れて、側溝の蓋が土砂で埋まっていた。ショベルカーを使って、土砂を取り除く作業をしてくださいました。土砂を取り除いたので、スッキリした環境になりました。

体育大会前に運動場北側の側溝の蓋の部分の土砂を取り除いたので、スッキリした環境になり、生徒のやる気を高める雰囲気になりました。学校全体の環境整備をすることで、心が洗われ、やる気がアップしていくと思います。計画的に環境整備をしていきたいと考えています。



校務員のIさんが、職員室南側のたまげの剪定をしました。人間が散髪してスッキリしたように、たまげもきれいに剪定されると、とても美しい環境に変わりました。



校務員のIさんが、職員室北側の廊下の掲示板の塗装をしました。何年かぶりの塗装で、壁がきれいに変わりました。校長室北側の表彰状を古いものを片づけ、平成30年、31年、令和元年のものを中心に掲示してあります。2020年、令和2年の額中生の活躍で、すべて令和時代の表彰状に替えていきたいと考えています。ここにも額中第2期黄金時代を表すものを掲示していこうと思います。2020年のスタートです。「努素心言」と「人の支え」を意識してCRSで額中第2期黄金時代を築きましょう。